



榊原温泉街を流れる榊原川にて

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である
The most important person in this hospital is the patient.

年始のご挨拶

精神医療の未来をひらく

院長 鬼塚 俊明

精神医療は、これまで主に医療者の経験や知識によって支えられてきました。しかし近年、全国の医療機関が協力し、膨大なデータを集めて疾患の特徴を明らかにするビッグデータ研究が盛んになっています。こうした新しい研究の流れは、私たちが日々向き合っている精神疾患を、これまで以上に深く理解するための大きな力となっています。

榊原病院も参加している多施設共同研究COCOROは、日本全国の研究者が協力し、脳の画像、認知機能、遺伝子の情報などを一万人以上から収集した、世界でも有数の精神疾患データベースです。これにより、従来の研究では見えにくかった精神疾患の特徴が、より鮮明に分かってきました。例えば統合失調症の方の脳では、記憶や感情に関わる部分が小さくなる一方、脳室が広がるなどの変化がみられることが報告されています。

さらに、同じ“統合失調症”という診断名であっても、脳の形や認知機能、社会機能によっていくつかのタイプに分かれる可能性があることが分かってきました。最新の研究では、脳室が大きく広がり、認知機能の低下もみられる一部のタイプが、治療に反応しにくいことが示されつつあります。中には、非常に稀な遺伝子変化や脳波異常が見つかるケースもあり、疾患の背景を理解するうえで重要な手がかりとなっています。

ビッグデータは集団としての特徴を示す一方、その裏側には必ず例外が存在します。医療の現場では、この多様性を理解することが不可欠です。平均的な治療が最も適した方もいれば、別の方法を選択することで大きく改善する方もいます。こうした成果がもたらす最大の意義は、一人ひとりに合わせた精神医療が実現に近づいているという点です。私たちが目指すのは、ビッグデータが示す科学的根拠を踏まえつつ、患者さん一人ひとりの人生や背景を丁寧に理解し、最適な支援につなげる医療です。

しかし、どれほどデータが発展しても、人の心の複雑さを数字だけで語ることはできません。医師をはじめとする医療スタッフは、当事者の症状だけでなく、その人の生活歴や家族背景、人柄、悩みなど、データには表れない大切な要素を理解しようと努めています。ビッグデータはあくまで治療の方向性を示す地図であり、実際に当事者の人生に寄り添い、共に歩むのは現場の私たちです。AIが診断や予後予測に使われる時代が近付きつつあります。しかし、当事者との対話や信頼関係、その人の物語を理解する姿勢は、どれほど技術が進んでも代わることはありません。エビデンスを活かしながらもその姿勢を忘れず、私たちはこれからも地域の精神医療を支えていきます。

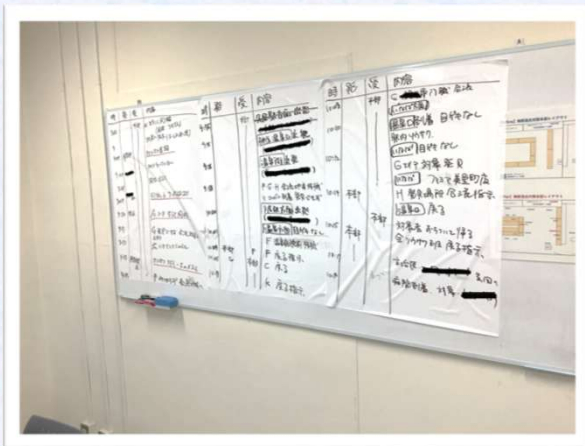
榊原病院は、当事者一人ひとりに向き合う姿勢とビッグデータによって得られる新しい知見、この2つを大切にしながら、これからも地域の皆様と共に、より良い精神医療の未来を創っていきます。

無断退去訓練を実施して

つばさ病棟 無断退去係

当院では、病棟行事の一環として無断退去訓練を年2回実施しています。本訓練は、入院対象者の無断退去発生時に病院として冷静に対応できるよう、初動体制や連絡体制、役割分担を確認することを目的としています。訓練では入院対象者や地域の安全確保を最優先に病院全体で連携に取り組んでいます。平時から体制を整え、万が一の事態でも落ち着いて行動できる体制づくりを進めています。

今年度の訓練は、6月に病院からの無断退去発生、12月は津市内での外出訓練中の無断退去発生を想定したシチュエーションで行いました。無断退去体制本部を設置し、本部職員が中心となり病院内での指揮命令系統を確立し、病院職員が一丸となって対象者の搜索、発見、確保までの訓練を行いました。



今回の訓練では、無断退去対策本部に警察官の方々にお越しいただき、当院の初動体制や連絡体制、役割分担に対して警察の視点から意見をいただくことができ、無断退去発生時の対応を強化できました。

また、警察との連携を深めることで、従来の外出・外泊訓練における情報共有や連絡体制についても整備することができました。

今後も訓練を行い、無断退去発生時の対応や関係機関との連携強化を継続し、地域に信頼される医療の提供に取り組んでいきます。

栄養コラム



美味しく食べて元気に越冬！

あけましておめでとうございます。
寒い日が続いてありますが体調などお変わりありませんか？
今回は、風邪を予防する食事のポイントを2つ紹介します。

1. バランスの良いお食事をこころがける！

→野菜は毎食、果物は1日1回食べるようにしましょう。
野菜はこの時期、お鍋にすると食べやすく、身体もボカポカになります。果物は食べすぎると体重が増えるので片手に乗るくらいにしましょう。みかんなら2個くらいがおすすめです。

2. 水分をしっかりとる！

→のどが乾燥すると風邪のウイルスが入りやすくなります。
こまめな水分補給のどを潤しましょう。
1日1.5～2.0程度を目安にしましょう。
甘い飲み物は体重が増えるので、水やお茶を中心に飲むようにしましょう。

美味しく食べて元気に冬を乗り越えましょう♪



デイ・ケア案内

あけましておめでとうございます。

デイケアは、病院の中にある、昼間の居場所です。月・火・水・金の9:30～15:30に活動しています。自分の希望をかなえていくために、人づきあいの練習をしたり、気持ちを穏やかに保つ方法を探したり、生活リズムを整える等、それぞれの目標に向けて過ごす場所です。

デイケアでは話をすることを大切にしています。メンバー同士、メンバーとスタッフ、いろいろな話が生まれます。毎日「シン☆タイム」という昼のミーティングを行っていますが、そこでは①自分の思いを話す、②他の人の話を聞く、③自分と違う意見もただ聞く、というルールで行っています。

今年も皆さまと健康に過ごしていくことを目指します。本年もよろしくお願い申し上げます。



1月のデイケアカレンダーは、富士山の初日の出です。山茶花が彩りを添えています。

冬といえばシチューでしょ。調理プログラムのメニューです。



編集後記



病院マスコットキャラクター「さかっさー」

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、皆様はどのようなことを考えますでしょうか。私は「毎日運動を続ける！」という目標を立てましたが、早速三日坊主の影が見えてきました笑。ひとまず無理しないレベルに続けていこうにしたいと思います。(庶務係長)

独立行政法人国立病院機構榊原病院

〒514-1292 三重県津市榊原町777番地

代表電話 ☎ 059-252-0211

地域医療連携室 ☎ 059-252-0660

訪問看護ステーションゆうはあと ☎ 059-252-0122

ホームページ <https://sakakibara.hosp.go.jp/>

FAX 059-252-0411

FAX 059-252-0280

FAX 059-252-0126

